

平成 28 年第 1 回区づくり推進横浜市議員会議（港北区）

日 時：平成 28 年 2 月 8 日（月）

議員団会議終了後

場 所：港北区役所 4 階 特別会議室

議 題

- 1 平成28年度個性ある区づくり推進費予算（案）について
- 2 その他

平成28年2月8日
平成28年第1回
区づくり推進横浜市議員会議
会 議 資 料

平成28年度 個性ある区づくり推進費 予 算 (案) について

港 北 区



平成28年度個性ある区づくり推進費 予算総括説明書

1 総括表

(単位:千円)

	28年度予算額	27年度予算額	増△減
(1)自主企画事業費	109,988	109,915	73 (0.1%)
(2)一般管理費	588,264	598,103	△ 9,839 (△ 1.6%)
合 計	698,252	708,018	△ 9,766 (△ 1.4%)

2 内訳

(1)自主企画事業費

(単位:千円)

区 分	28年度 予算額	27年度 予算額	増△減	主な事業名〔主な増減理由〕
1 安心して暮らせるまちづくり	22,914	19,217	3,697	・災害に強いまちづくり推進事業 ・交通事故 無事故でカエル事業 ・放置自転車対策事業 〔地域防災拠点の環境改善等、災害対策の充実による増など〕
2 活気にあふれるまちづくり	45,025	40,025	5,000	・ウォーキングから始まる健康づくり事業 ・港北魅力発見事業 ・港北区商店街活性化事業 〔オープンデータによるまちづくり推進事業(新規)開始による増など〕
3 地域で支えあう福祉のまちづくり	19,203	23,205	△ 4,002	・「ひとつプラン港北」推進事業 (第3期港北区地域福祉保健計画) ・港北元気っ子事業 ・区内保育所施設PR事業 〔「ひとつプラン港北」第3期計画の策定終了による策定委員会等経費の減など〕
4 組織力・職員力の発揮による住民サービスの向上	22,846	27,468	△ 4,622	・「仕事力向上」職員育成事業 ・戸籍課案内サービス向上事業 ・広報よこはま区版発行事業 〔区庁舎環境改善の局予算対応による減など〕
合 計	109,988	109,915	73	

(2)一般管理費

(単位:千円)

区 分	28年度 予算額	27年度 予算額	増△減	主な管理施設〔主な増減理由〕
統合事務費	30,252	29,604	648	区役所業務の事務経費 〔民生委員改選経費の増〕
区庁舎等管理費	73,783	71,718	2,065	港北区総合庁舎、土木事務所、 行政サービスコーナー(2か所) 〔ESCO導入による委託料の増〕
区版市民活動支援センター管理費	1,091	1,091	0	港北区区民活動支援センター
地区センター等管理費	230,095	231,849	△ 1,754	地区センター(6か所) スポーツ会館 〔指定管理料の減〕
青少年施設管理費	8,541	8,565	△ 24	こどもログハウス
公会堂管理費	19,909	19,687	222	
老人福祉センター等管理費	44,519	46,428	△ 1,909	老人福祉センター 〔老人憩いの家廃止に伴う委託料の減〕
コミュニティハウス管理費	80,169	80,601	△ 432	コミュニティハウス(3か所) 学校施設活用型コミュニティハウス(3か所) 〔指定管理料の減〕
区スポーツセンター管理費	24,020	28,582	△ 4,562	スポーツセンター 〔指定管理料の減〕
広場・遊び場等管理費	14,484	14,484	0	国際交流ラウンジ 広場・遊び場等(13か所)
区庁舎・区民利用施設 修繕費	7,500	7,500	0	小破修繕等
区庁舎等光熱水費	53,901	57,994	△ 4,093	港北区総合庁舎、公会堂、土木事務所、 行政サービスコーナー(2か所) 〔ESCO導入による減〕
合 計	588,264	598,103	△ 9,839	

1 安心して暮らせるまちづくり

〔28 年度：22,914 千円 27 年度：19,217 千円〕

避難生活のストレスを軽減するエアマットなどの備蓄、備蓄庫の収納力や搬出入操作性の向上など、地域防災拠点の環境改善を進めるとともに、木造密集地域などの自治会町内会へのスタンドパイプ式初期消火器具の整備を促進するなど、防災力を強化します。また、横浜 F・マリノスと連携した交通安全教室の開催や、防犯力の強化など、安心・安全なまちづくりを進めます。

事業概要

①災害に強いまちづくり推進事業 〔(28) 10,000千円、(27) 6,620千円〕

災害時における地域防災拠点での長期生活に備え、避難生活のストレスを軽減するエアマットの備蓄など、避難者の環境改善を進めます。併せて、発災時に円滑に拠点運営ができるよう、備蓄庫内の整理を進めます。

また、地震火災対策方針対象地域（木造密集地域）などの自治会町内会にスタンドパイプ式初期消火器具を計画的に整備します。例年実施の各種啓発や訓練等についても引続き実施します。

【地域防災拠点の環境改善】

- ・長期生活を見据えた備品・物品（エアマット等）の整備、備蓄庫内の整理《新規》
- ・資機材の計画的修繕や地域防災拠点の活動支援（通年）

【災害時の延焼防止対策】

- ・延焼防止対策補助（スタンドパイプ式初期消火器具の購入補助）《新規》

【その他区民向け啓発等の継続的な対策】

- ・各種防災マップの発行（通年）、震災をテーマとした防災講演会の実施（下半期）
- ・新横浜駅周辺混乱防止対策訓練（2月）、区本部訓練（6月、9月、1月）

《参考》

区配予算（総務局）

- ・地域の減災行動支援事業（H28：700,000円見込み H27：1,000,000円）
 自助・共助を推進するため、地震火災対策方針対象地域（木造密集地域）を優先にスタンドパイプ式初期消火器具購入の補助等を実施
 ＊本区づくり予算（延焼防止対策補助）と合わせて執行
 - ・地域防災活動奨励助成金（3,360,000円〈区内28の地域防災拠点へ1拠点12万円補助〉）
 - ・「町の防災組織」活動費補助金（町の防災組織に対し補助 160円/1世帯）
- 局予算で実施する防災関連の取組（総務局、環境創造局、資源循環局、建築局）
 各種備蓄品の更新、防災・減災推進研修、感震ブレーカー等設置推進事業、防災ライセンス、災害時下水直結式仮設トイレの整備、がけ調査など

参考 「災害に強いまちづくり推進事業」について【10,000千円】

1. 地域防災拠点（区内 28 拠点）の環境改善【4,528 千円（新規 4,000+継続 528）】

① **生活環境整備事業～避難所の生活ストレス軽減～** 4,000千円(②と合わせて)《新規》

長期生活を見据えた「床面の固さや寒さの軽減」「プライバシー空間の確保」のための備品を整備

〔整備する主なもの(案)〕

- ・床の固さを軽減するもの(エアマット等)の配備
- ・プライバシーを守るためのパーテーションの配備

併せて、地域防災拠点の特性や教室活用の可能性などを踏まえ、人権に配慮した避難所運営マニュアルを住民主体で作成できるように支援します。



東日本大震災時の様子

② **地域防災拠点備蓄庫整理** (①と合わせて4,000千円)《新規》

備蓄する物の増加やトイレ等の大型資機材の導入により、既存の備蓄庫ではうまく整理できていない状態のため、「収納スペースの確保」「搬出入の機動性」を考慮し、キャスター付きラック(かご台車)等を導入します。

◆ 整備計画: (①と②ともに)5か年で全拠点整理

28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	合計
5拠点	6拠点	6拠点	6拠点	5拠点	全28拠点



かご台車



エアマット

パーテーション

➤ 備蓄資機材の点検・修繕 **528千円**

2. 災害時の延焼防止対策【新規 1,000 千円】

➤ **スタンドパイプ式初期消火器具補助事業** 1,000千円《新規》

対象地域のみならず、区内の延焼防止対策を推進するため、消防署(初期消火器具等補助事業・消防局)と連携し、町内会単位でのスタンドパイプ式初期消火器具の購入補助を実施します。

◆ 補助実施計画(消防局実施分も含む):5か年で区内全自治会・町内会の約半数(88)へ補助

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	合計
補助台数	3	5	17	14	13	12	12	12	88
(区役所)	-	-	10※	7	6	5	5	5	38
(消防)	3	5	7	7	7	7	7	7	50

※区配布予算を活用 【補助対象地域の優先順位と整備数(88 団体)の考え方】

優先順位1:地震火災対策方針の対象地域(32 団体)

優先順位2:上記対象地域を除く、焼失棟数が1～5軒の地域(56 団体)

3. 情報発信の強化、自助・共助の啓発【継続 2,450 千円】

➤ **港北区防災マップの更新・各種ハザードマップの作成** 2,230千円

毎年の地図面の時点更新に加え、情報面を更新し、自助の大切さを啓発する内容にします。

➤ **防災講演会の実施** 220千円

避難所生活に関する講演会の実施 (H26「女性の人権と防災」 H27「人権と医療から見る避難所」)

➤ **広報よこはま、ホームページ、ツイッターなどを活用した情報提供**

*危機管理アンケート(総務局)

- ・約9割の人が地震に対して何らかの不安を抱えている
- ・港北区では6割以上が訓練に参加していない

4. 職員の防災意識向上、区本部体制強化や関係機関への補助等【継続 2,022 千円】

➤ **港北区災害対策本部の充実** 1,652千円

防災用通信機器使用料(携帯電話、デジタルトランシーバー等)、本部体制の充実。

➤ **各種団体への補助等** 370千円

災害ボランティア連絡会への補助、アマチュア無線非常通信協会への協力費用

➤ **災害対策本部訓練の実施【年3回】(総務課)、安否確認訓練・動員訓練の実施(総務局)**

*その他、港北区では区づくり予算や区配予算等を活用し、第3期「ひとつプラン港北」を踏まえた災害時要援護者支援事業、避難所のペット対策や災害時医療整備事業など、防災対策を一体的に進めていきます。

②交通社会 無事故でカエル事業 [(28) 3,024千円、(27) 2,574千円]

「毎日事故無く家に帰る」「事故の無いより安全安心なまちに変える」を目指し、スクールゾーン路面標示など区内の交通安全環境の整備や、交通安全教室、交通安全キャンペーン等の啓発活動を通じて交通安全を推進します。

28年度から新たに中学生に対する啓発として、スケアードストレイト（事故再現）方式による自転車の交通安全教室を、道路局予算と合わせて3校（3年で区内中学校を一巡）実施します。

- ・「スクールゾーン」路面標示の実施
- ・はまっ子交通安全教室の実施（小学校 年8校程度）
- ・スケアードストレイト（事故再現）方式による交通安全教室の実施《新規》
（中学校2校、他に道路局予算で中学校1校）
- ・スクールゾーン対策協議会への助成金交付等
- ・各種交通安全キャンペーンの実施（年7回程度）
- ・交通安全大会の開催（12月）

③放置自転車対策事業 [(28) 5,267千円、(27) 5,267千円]

自転車等の放置が著しい駅の周辺で歩行者の安全を確保するため、道路局予算と合わせて自転車放置防止監視員の配置をはじめとした放置自転車対策を展開します。

- ・自転車放置防止監視員の配置（通年）
特に自転車の放置が著しい区内6駅（日吉、綱島、大倉山、菊名、新横浜、新羽）
- ・各駅の自転車等放置防止推進協議会の活動助成（通年）
- ・放置自転車の撤去作業の実施（通年）

《参考・区配予算（道路局）》

自転車マナーアップ事業

- ・自転車放置防止監視員の配置（区づくり予算と合算して執行）

④放置自転車ストップし隊事業 [(28) 2,617千円、(27) 2,617千円]

③放置自転車対策事業と併せて、地域住民のボランティア「放置自転車ストップし隊」による自転車等の放置防止の呼び掛けを行い、地域の意識醸成も含めた放置自転車対策を展開します。（通年）

- ・実施駅及び隊員数 7駅 27人
（日吉9人、綱島3人、大倉山5人、妙蓮寺1人、小机2人、高田4人、新羽3人）
- ・活動内容 自転車等の放置防止の呼び掛け（1日2時間程度）など

⑤消費生活推進員事業 [(28) 594千円、(27) 594千円]

消費生活推進員が行う消費者被害未然防止活動などを支援し、区民の豊かな消費生活の実現を図ります。

- ・推進員対象の研修会開催（7月）
- ・消費者のつどい～消費者大学～開催（11月）
- ・自治会町内会に向け広報紙「あゆみ」の発行（3月 12,000部）
- ・各地区における消費者被害未然防止・拡大防止に関する啓発講座等の開催

《参考・区配予算（経済局）》

消費生活推進員活性化モデル事業

- ・消費者被害救済や未然防止の啓発物品の制作

⑥快適な暮らしの衛生応援事業 [(28) 480千円、(27) 540千円]

食の安全や施設の衛生確保、動物の適正飼育啓発を行い、安全で快適な暮らしの確保を推進します。

- ・動物愛護の普及啓発とペットの適正飼育（年3回）、災害時対策の啓発（通年）
- ・自主衛生管理の向上のため、区内の事業者の講習会等の支援（年30回）
- ・食中毒発生及び感染症拡大防止を目的とした、保育園児向け手洗いの啓発（6～11月 15園）

⑦港北^{トリプルA}AAA（安全で安心な明日を）地域防犯力向上作戦 [(28) 470千円、(27) 578千円]

地域主体の防犯活動に側面的な支援を行い、防犯力向上を図ります。

- ・携帯電話やパソコン、FAXでの防犯情報メールの配信（登録者6,651人 28年1月末現在）
- ・青色防犯灯装備車によるパトロール
- ・自治会町内会等の団体が防犯活動の際に使用する物品の作成、配布
- ・「港北区子ども110番の家」ネットワーク実行委員会の支援

《参考・区配予算（市民局）》

地域防犯支援事業

- ・区で実施する防犯対策、地域での防犯活動に対する支援を実施するための啓発物品の購入
- 落書き防止事業
- ・落書き防止活動支援のための、落書き除去スプレー等清掃用具の購入

⑧災害時医療整備事業 [(28) 462千円、(27) 427千円]

区防災計画（震災対策編）の医療救護等の対策を推進するために、平時から関係機関との各種会議の開催や医療救護隊等の訓練を実施します。

- ・区災害医療連絡会議（年1回）
- ・三師会連絡会議（年2回）
- ・医療救護隊等の訓練実施（年3回）

2 活気にあふれるまちづくり

【28 年度：45,025 千円 27 年度：40,025 千円】

「こうほくの商店街ちょいつまみウォーク」などの魅力あるウォーキングイベントや「港北オープンガーデン」などの開催により、健康づくりとともに、まちの魅力を発信し、地域への愛着を深めます。また、地域等との協働による地域課題解決や各種団体への活動支援を行うことにより、活気にあふれるまちづくりを進めます。

事業概要

①ウォーキングから始まる健康づくり事業 [(28) 4,369千円、(27) 4,049千円]

様々な年齢層にウォーキングの楽しさをPRするとともに、区民の健康づくりのきっかけとなるウォーキングが継続するよう支援します。

【啓発】

ウォーキング継続のためのウォーキング手帳の発行	(5,000冊)
ウォーキング効果測定会と研修会の開催	(8～12月)
若い世代へのウォーキング普及啓発《新規》	(7～9月)

【イベントの開催】

歩いて学んで港北とくとくウォーク	(6～12月)
(フォトウォーク、野鳥観察ウォークなど)	

【環境整備等】

健康測定機器の全地域ケアプラザ（9か所）への設置	(6～8月)
ウォーキングルート案内板等の整備	(通年)
篠原城址などの地域資源活用検討調査等※	(通年)
(※②港北魅力発見事業から予算を付替)	

②港北魅力発見事業 [(28) 1,960千円、(27) 3,400千円]

港北区の魅力を発信し、区民が地域への愛着をより深めるイベントを開催します。

オープンガーデン

区内の普段公開されていない個人の庭や、地域の方々が手入れしているコミュニティ花壇などを歩いて巡るイベント（4～5月）

オープンファクトリー

区内事業所の工場を見学するイベント

※オープンヘリテージは、実施主体を区民団体に移行したため、区の事業としては終了

③港北区商店街活性化事業 [(28) 1,500千円、(27) 1,500千円]

商店街のお店で提供される品物をつまみながら歩く「こうほくの商店街ちょいつまみウォーク」を27年度に引き続き開催するとともに、新たに小学生を対象とした商店街店舗での職業体験イベントを開催するなど、区内に点在する商店街と商店街の店舗を知るきっかけづくりを図ります。

- ・こうほくの商店街ちょいつまみウォーク（11月予定）
- ・商店街一日体験事業《新規》（2商店街予定）

④育もう「ふるさと港北」事業 [(28) 7,110千円、(27) 5,760千円]

区民の誰もが参加し交流を深め、「ふるさと港北」意識を高めることを目的として行われる、各種事業に助成します。28年度は「区民の一体感」や「ふるさと港北」の意識醸成の役割を果たしている横浜F・マリノスの新横浜移転を契機に、港北区連合町内会とともに締結した「ホームタウン活動の協力に関する基本協定」を踏まえ、連携ロゴの作成のほか地域活性化に資する活動を連携して実施し、港北区の魅力を発信します。

- ・小机城址まつり（4月）
- ・ふるさと港北ふれあいまつり（10月）
- ・各地区連合町内会主催盆踊り・健民祭等（7～11月）
- ・大倉山観梅会（2月又は3月）
- ・港北魅力プロモーション事業（梅の写真コンテスト・港北区ウォーキングマップ）
- ・「港北区には横浜F・マリノスがある」プロモーション事業《新規》
（連携ロゴの作成、出生届提出者へのフォトフレーム作成配布等）
- ・ふるさと港北子ども美術展の実施

⑤地域のチカラ応援事業 [(28) 4,218千円、(27) 4,618千円]

地域住民が、地域課題の解決に向けて主体的に取り組むことができるように、「福祉保健」、「文化芸術」、「地域まちづくり」などをテーマに活動する団体に対し、補助金の交付や団体間の交流促進を行うほか、地域での団体間の連携構築、地域主体の取組支援など、新たな展開に広がるきっかけづくりに取り組みます。

- ・チャレンジコース（補助金／23団体）
地域課題解決に取組実績のある団体が行う事業を対象：上限30万円、5か年まで
- ・パートナーシップコース（区後援名義の使用承認／6団体）
自主財源で活動を行う団体を対象：予算執行を伴わない支援
- ・公開提案会（4月）
- ・中間報告会・交流会（9月又は10月）
- ・最終報告会・交流会（2月又は3月）

《参考・区配予算（市民局）》

元気な地域づくり推進事業

- ・地域のチカラ応援事業
 - ・スタートアップコース（補助金／10団体）
新規事業を対象：上限5万円、2か年まで（チャレンジコースへの移行も可）
 - ・地域元気づくりコース（補助金／4団体）
自治会町内会と連携して取り組む事業を対象：上限25万円、5か年まで
- ・「まちの先生ガイド」発行、地域情報紙「港北力発見★通信」発行（3回発行予定）、地域力推進のための職員研修の実施など

⑥オープンデータによるまちづくり推進事業 [(28) 4,500千円、(27) -]

区が保有する情報のオープンデータ化を推進し、協働による地域課題の解決や新たなビジネス創出、行政の透明性の向上等を図ります。また、4年に一度実施している区民意識調査を行い、区民のニーズや地域課題に関するデータを幅広く収集し、区民や様々な団体と共有します。

- ・区の特性を踏まえたまちづくりや地域課題の解決へのオープンデータの活用検討《新規》
- ・区民意識調査の実施（8月）《新規》

⑦青少年活動支援事業 [(28) 3,954千円、(27) 3,054千円]

地域における青少年指導員等の活動の充実を図り、青少年の健全育成を推進します。
青少年指導員の新たな委嘱（任期 2 年間）に伴い、新任者等へのユニフォームを作成します。

- ・ペットボトルロケット大会（9月）
- ・啓発キャンペーン（10月）
- ・自然体験教室（11月）
- ・区青少年指導員研修会（2月）

⑧地域スポーツ推進事業 [(28) 3,483千円、(27) 3,743千円]

スポーツ推進委員及び区体育協会活動の充実を図り、地域における生涯スポーツの促進・活性化を進めます。また、「横浜国際総合競技場」が、31年に日本で開催される「ラグビーワールドカップ2019」の決勝戦会場に決定したことを受け、より多くの区民が、ラグビーや港北区との関わり等について興味・関心を持ち理解を深められるよう、地域と連携した普及啓発を行うとともに、広報よこはま区版をはじめ、さまざまな機会を通じた関連情報提供を行います。

- ・スポーツ推進委員連絡協議会及び区体育協会の活動への支援
- ・港北駅伝大会（1月）等広く区民が参加できるスポーツ事業の実施
- ・ラグビーワールドカップ2019日本大会に向けた機運醸成《新規》

⑨こうほく 3 R 推進事業 [(28) 3,105千円、(27) 2,721千円]

ごみの分別や発生抑制を中心とした「3 R 行動」を推進するための普及・啓発活動を行います。また、街の美化運動への支援や、不法投棄・ポイ捨て防止の取組などにより、清潔できれいな街づくりを進めます。

- ・ごみ分別説明会、生ごみ堆肥化説明会、保育園・小中学校への出前教室など（通年）
- ・美化推進重点地区(新横浜)清掃（週 3 回）、不法投棄防止対策（通年）、主要駅でのポイ捨て・歩行喫煙防止啓発など

《参考・区配予算（資源循環局）》

- 3 R 夢広報事業費
- ・ 3 R 夢啓発チラシの印刷など

⑩港北エコアクション推進事業 [(28) 2,776千円、(27) 2,376千円]

「港北水と緑の学校」事業として、将来を担う世代に環境学習機会の提供を行うほか、新たに一般区民向け講座を行うことで地球温暖化対策の更なる普及啓発を図ります。また、『港北エコアクション』として、「省エネルギー」「みどりアップ」「ヨコハマ 3 R 夢プラン」の 3 つの取組を区民や事業者との連携を図りながら実施していきます。

- ・港北エコアクション推進本部総会（5月）
- ・小学校向け環境学習講座（6～10月）
- ・一般区民向け環境・防災講座（7～8月）《新規》

⑪まちづくり調整費 [(28) 1,895千円、(27) 1,895千円]

区内のまちづくりの円滑な推進や地域課題の解決に向けた、調査や関係機関調整を実施します。

⑫芸術文化振興事業 [(28) 1,790千円、(27) 1,600千円]

区内の芸術文化振興を図るため、質の高い芸術に触れる機会を提供する鑑賞型事業と区民の文化活動の発表の場を提供する区民参加型事業による「港北芸術祭」を実施します。また、横浜音祭り連携事業として音楽イベントを中心に開催します。 連携予定事業＝《♪》

港北芸術祭実行委員会主催事業

【鑑賞型】

- ・太鼓パフォーマンス（9月 港北公会堂）《♪》
- ・サンドアートパフォーマンス（11月 港北公会堂）《♪》

【参加型】

- ・夏休み親子コンサート（8月 港北公会堂）《♪》
- ・【新】箏尺八体験教室（8月 港北公会堂）《♪》
- ・オーケストラ体験教室（10月 港北公会堂）《♪》
- ・【新】ミズキーコンサート～中学生の音楽ひろば～（10月 トレッサ横浜）《♪》
- ・中学校生徒音楽会（10月 港北公会堂）
- ・小学校児童音楽会（11月 港北公会堂）
- ・港北美術展（3月 大倉山記念館） 他

各種団体主催事業

- ・港北区合唱の集い（9月 港北公会堂）《♪》
- ・区民ミュージカル（10月 港北公会堂）《♪》
- ・ダンスフェスティバル（11月 港北公会堂）《♪》
- ・こうほく第九演奏会（11月 港北公会堂）《♪》 他

⑬地域振興活動事業 [(28) 1,374千円、(27) 1,374千円]

区民、地域との円滑なコミュニケーションを図るため、回覧物送付、自治会町内会長永年在職者表彰などに係る経費を支出します。また、新任会長等を対象とした「自治会町内会長説明会」を引き続き実施します。

⑭地域人材育成事業 [(28) 1,214千円、(27) 1,308千円]

区民が企画運営する学級を支援することにより、多様なニーズに対応した生涯学習の機会を提供し、地域活動の核となる人材を育成します。

- ・「生涯学級」（5～3月 7学級）
- ・保育ボランティア養成講座（8～9月）
- ・生涯学級運営委員研修会（2月）

⑮区民活動支援事業 [(28) 1,027千円、(27) 1,027千円]

区民の自主的・主体的な地域活動・生涯学習を支援します。

- ・生涯学習支援情報紙「楽遊学」の発行（月1回 3,000部）
- ・グループ・団体（195団体）や、まちの先生（216人）の紹介
- ・区民活動支援センターの運営経費

⑩読書活動推進事業 [(28) 750千円、(27) 500千円]

区の地域性に応じた読書活動を推進するため、区の読書活動推進目標に沿ったイベントや講演会等を行います。

まちライブラリーPR事業《新規》

地域の交流の場を活用し、メッセージ付きの本を交換することで人のつながりをつくることを目的とした事業。まちライブラリーに関する講演会や体験イベントを開催（7月）

読書活動推進講演会（9月）

パパと楽しむ絵本イベントの開催（11月）

読書フェスティバル2016の開催

地区センター等、区内施設が参加し、おはなし会などのイベントを実施（11月）

POP作成講習会の開催（1月）

《参考・区配予算（教育委員会事務局）》

読書活動推進事業

「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」に基づく、区役所、図書館、学校、区民利用施設等が連携した地域全体での読書活動の推進

- ・読書活動推進関係機関連絡会の開催
- ・読書フェスティバル（11月）の実施など

3 地域で支えあう福祉のまちづくり」 【28年度：19,203千円 27年度：23,205千円】

港北区地域福祉保健計画「ひっとプラン港北」第3期計画（28～32年度）の初年度として、子育て世帯から高齢者、障害のある方など誰もが暮らしやすい福祉のまちづくりを推進します。特に、出生数及び未就学児が市内で最も多く増加傾向にあることから、看護師資格を持つ港北元気っ子サポーターによる母子訪問や両親教室の充実、子育て応援メールマガジン「ココめ～る」の配信などにより、育児不安の軽減や虐待防止を図ります。また、保育士確保のための保育所見学ツアーの実施など、待機児童対策にも取り組みます。

事業概要

①「ひっとプラン港北」推進事業 [(28) 1,213千円、(27) 2,442千円]

身近な福祉保健課題を解決するため、28年度からスタートする第3期港北区地域福祉保健計画（計画愛称：「ひっとプラン港北」）を推進します。

- ・第3期計画周知にかかる計画書の印刷・配布
（計画書：2,000部、概要版：30,000部、地区計画：30,000部）
- ・区民・団体等の代表者による策定・推進委員会の開催（年2回）

②港北元気っ子事業 [(28) 10,971千円、(27) 10,151千円]

安心して子育てできる地域の環境づくりを支援し、育児不安の軽減と児童虐待の防止を図ります。

元気っ子育てサポート

転入者が多い港北区の特性を踏まえ、区配事業（母子訪問事業）による第1子訪問に加え、「元気っ子育てサポーター（看護職有資格者）」が第2子以降の新生児訪問の希望にも対応し、地域への繋がりをつくりながら育児不安の軽減を図る

児童虐待防止対策

民生委員・児童委員、主任児童委員、保育所、幼稚園、学校、医療機関、警察等で構成する「要護児童対策地域協議会」関係者に対する研修会の開催

子育て応援メールマガジン

子育て応援メールマガジン「ココめ～る」により、子育て情報を週1回配信

地域育児教室

0歳児（第1子）とその養育者を対象とした「赤ちゃん会」（区内24会場）を引き続き実施

両親教室《拡充》

平日開催（区配事業）に加え、ニーズが特に高い土曜日の開催回数を年間5回から19回に拡充するとともに、より身近な場所で親子の姿を見る事により子育てのイメージができるよう、開催会場を「港北区地域子育て支援拠点及びサテライト（サテライトは9月から）」に移し実施

③区内保育所施設PR事業 [(28) 1,180千円、(27) 1,533千円]

区内保育所を支援し、保育士確保のための保育所体験事業を実施します。また、地域の保育所情報を掲載した区独自の保育所入所案内を作成します。

保育所体験事業「OPEN！港北の保育園！」

保育士養成校等の学生や潜在保育士を対象に、区役所職員が同行し、1日3園の保育所を見学できる保育所体験見学会を実施（8月 60人募集）

保育所入所案内等の作成

区民の多様な保育ニーズに応えるため、保育所入所案内を作成し、広く保育情報を発信（10月 11,000部）

④高齢者・障害者支え合い推進事業 [(28) 2,062千円、(27) 2,412千円]

高齢者・障害者支援についての理解促進を図るため、区民、関係機関向けの広報・啓発、研修事業を実施します。併せて、福祉保健相談者の利便性の向上のため、一時託児を実施します。

【高齢者支援】

- ・認知症啓発のためのパンフレット作成（2,000部）
- ・地域ケア会議の開催等（11月）、介護予防研修会（1月）

【障害者支援】

- ・支援者・当事者向け研修会等（9回程度）、障害者理解のための啓発講演会（1回）

【一時託児サービス】

- ・福祉保健相談窓口での保育協力者による一時託児サービス（245日／年）

⑤地域子育てつながり事業 [(28) 1,880千円、(27) 1,875千円]

子育て不安の解消及び育児力向上を支援するため、区内認可保育所等を活用し、地域の子育て家庭を対象に様々な育児支援事業を実施します。

わくわく子育て広場

子育て家庭に育児の楽しさを伝えるとともに、保育所間の交流を深めるため、公私立保育所合同の育児支援講座を実施（9月 港北公会堂・港北区役所乳幼児健診会場）

にこにこ広場

区内を3エリアに分け、地域密着型の育児支援講座を公私立保育所合同で実施（各年1～2回）

ベビーステーション

子育て家庭が外出しやすい環境を整えるため、オムツ交換や授乳ができる場所として保育所を開放（通年 協力施設38施設から45施設に拡充予定）

みんなでいただきます

保育所にて、港北区産野菜を使った地産地消の食育講座を実施。講座で使用したレシピを基に地産地消を推進する食育冊子を作成し、乳幼児健診会場等で子育て家庭に配布

（食育講座 5～6月 15回、食育冊子 10月 5,000部）

認可保育所の栄養士による旬の野菜等の記事を掲載した食育だよりを発行（年5回）

絵本の図書館

保育所にて、絵本を地域の子育て家庭に貸し出す取組みを実施（通年 協力園26園）

区民が作成した、港北区の昔話を題材にした紙芝居を認可保育所に貸し出し、紙芝居の作成者による読み聞かせ講座を実施（貸出用紙芝居 20話×10セット、読み聞かせ講座 25回）

⑥離乳食教室 [(28) 1,433千円、(27) 2,590千円]

食育の第一歩である離乳食への導入が速やかに図れるように、港北区離乳食手帳の配布及び離乳食教室を開催します。28年度は事業実施方法を見直しました。

港北区離乳食手帳の配布

27年度は離乳食教室参加者のみ（3,000部）に配布していましたが、28年度から4か月児健診に来所した全養育者に配布します。（5,000部）

離乳食教室開催

養育者が最も離乳食不安が大きくなる7～8か月の1コースに絞り、6地域ケアプラザと新たに区役所会場を増やし計7会場36回開催します。

⑦学齢障害児余暇支援事業 [(28) 464千円、(27) 477千円]

夏休み期間中の学齢障害児とその家族の生活を支援するため、地域ケアプラザ・地域活動ホーム・社会福祉協議会・区役所等が連携し、余暇活動の場や機会を提供します。

- ・ボランティア研修会、参加者説明会（7月 計2回）
- ・プログラム実施（7～8月 1プログラム2日間の日程で、計6プログラム）

4 組織力・職員力の発揮による住民サービスの向上 【28年度：22,846千円 27年度：27,468千円】

職員研修や窓口案内の充実などに取り組むとともに、広報よこはまやホームページなどにより効果的で分かりやすい情報発信を行います。

事業概要

①戸籍課案内サービス事業 [(28) 1,112千円、(27) 681千円]

繁忙期において、来庁するお客様の待ち時間の短縮に向けて、職員を窓口体制の拡充に充てる補完として、電話対応の一部に専門スキルを持ったオペレーターを活用します。(4月1日～5月9日、29年3月13日～31日の間で特に混雑が予想される25日間)

また、窓口で転入者にお渡ししている転入者キット（暮らしのガイドに市政・区政情報を差し込んだもの）についても、新たに、よこはま障害者共同受注総合センターを通じ、区内障害者施設を活用して作成し、作業の効率化等を図ります。(約12,000部作成予定)

②「仕事力向上」職員育成事業 [(28) 987千円、(27) 787千円]

職員の仕事力を向上させるため、「CS向上研修」「人権啓発研修」「男女共同参画推進研修」等を実施し、窓口サービスの充実とさらなる区民満足度の向上へとつなげます。

③広報よこはま区版発行事業 [(28) 11,277千円、(27) 11,162千円]

広報よこはま港北区版を発行し、区政の重要課題や区民の生活に必要な行政情報・地域情報などを提供します。紙媒体の各戸配布やPRボックスへの配架のほか、区ホームページへの掲載を通じて配布します。

- ・広報よこはま区版の発行 (月1回)

④人にやさしい施設づくり事業 [(28) 6,483千円、(27) 11,044千円]

利用者が快適に過ごせる環境づくりを目指し、区内施設の環境改善を行います。昨年度に引き続き、区民利用施設等の利便性向上のための環境改善に取り組んでいきます。

⑤広聴相談事業 [(28) 2,032千円、(27) 2,104千円]

「市民からの提案」等の広聴制度により手紙やEメールで寄せられた区民の提案・意見を受け付け市政運営に活用するほか、区民が日常生活で直面する問題について、法律等の専門家による相談を行います。

- ・「市民からの提案」等の受付
- ・法律相談等の特別相談の実施

⑥港北区PR情報発信事業 [(28) 955千円、(27) 1,240千円]

迅速かつ正確にホームページやツイッターで情報発信することで、行政情報を的確に提供します。加えて、生活に必要な情報を掲載した区民生活マップを区内転入者等に配布します。また、区のキャラクターを有効活用し区のPRを行います。

- ・ホームページやツイッターでの情報発信
- ・区民生活マップ「港北区ガイドマップ」の配布
- ・区キャラクター「港北区ミズキー」を活用した区のPR

